|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （１）お金はどこに行くの？ | １ | お金って、何だろう？  ～意味・価値・計画的な使い方～ |
| □封筒①　□封筒⑮[共通]　□ワークシート（1） | |

|  |
| --- |
| １　この学習のねらいについて |
| 「お金」の指導を子供にする場合は、使い方の指導と合わせて、「使えるお金には限りがある」という考え方を身に付けさせます。お金が好きなだけ使えては、大切に使おうという意識も生まれません。本教材では、自分の家の中の出来事に置き換えて、「働いて得る収入」と「ものやサービスと交換する支出」について考えさせます。お金がなければものが買えない、サービスの供給が受けられない＝困るという意識をもたせることで、お金の使い方に関心が生まれます。お金は無尽蔵に入ってくるものではありません。お金の大切さと大切にするために節約の工夫をしていることにも気付かせます。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ２　学習前の準備と指導の見通し等 | |
| 封筒①：[１]収入表・[２]支出表  ・[３]～[８]収支カード  封筒⑮：[２]がまぐちくん・[４]がまぐち母  ・[５]家庭学習マーク  ワークシート：（１）  ①[３]～[８]  ①[１]収入表　　　　①[２]支出表　　　収支カード    ⑮[２]がまぐちくん　⑮[４]がまぐち母　　⑮[５]家庭学習マーク | 活用場面：日生・生単・家庭 |
| ○指導の見通し○  がまくんのお家の人は、レシートを集めて計算しています。計算した結果を見て、「お金が足りなくて、ごはんが買えないわ」と困った顔で言っています。「お金って、足りなくなるの!?ごはんって、買えなくなるの!?」がまくんはびっくり。  ↓  がまくんの家の収入（給料）は、家族が毎日生活するために使われていて、使いすぎると足らなくなる。  ↓  使いすぎない工夫が必要だ。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ３　児童の実態と段階別目標 | | |
|  | 学習前の子供の様子 | 目標 |
| A | ・家の人は、生活に必要なものやサービスを、お金と交換していることに気付いている。 | ・お金は、使い過ぎると困ることがあることに気付ける。 |
| B | ・お金がないと、ものを購入したり、サービスの供給を受けたりすることができないことを気付いている。 | ・収入に合わせた支出をする必要があることを理解できる。  ・使えるお金に限りがあることを理解できる。  ・お金を大切にしようという意識がうまれる。 |
| C | ・持っているお金以上に支出ができないことを知っている。 | ・不測の事態に備えるために、収入分の支出を控える必要があることを理解できる。  ・節約方法（①無駄遣いしない②予算を決める③家計簿をつける）を複数挙げられる。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 指導例 | |
| 活　動　内　容 | 指導のポイント |
| 1. 本時の学習内容を知る。   がまくんのお家の人が、レシートを集めて計算しています。「お金が足りなくて、ごはんが買えないわ」と言っています。   1. お家のお金がどのように使われているか、知っていることを発表する。   ・ごはんの材料を買っているよ  ・遊園地で遊ぶお金にしている  ・ノートや筆箱を買っている   1. 掲示物で、出費の内容を確認する。   収入表に収支カード（きゅうりょうの面）を貼る。  収支カードを裏返して（生活費の面）支出表に移動させる。  収入が色々な支出に変わり、食費が足りなくなる。   1. 学習問題を知る。   どうすれば、ごはんが買えるでしょう。  　かんがえよう。   1. 支出を見て考える。   ・何かをがまんする  ・好きなだけ使っているとなくなる  ・すぐにいっぱい使うと足らなくなる  ・テレビや電気をつけたままにするとお金が  かかる   1. まとめをする。   お家のお金は、いろいろなものに使われていて、どんどんなくなっていくので、よく考えて、工夫して使う。 | □がまぐちくん・がまぐち母を提示しながら話を聞かせ、子供にイメージをもたせましょう。  □黒板に収入・支出・収支カードを掲示して、働いて得た給料で生活が成り立っていることに気づかせ、その給料でどのような「もの」や「サービス」を購入しているか発表させる。  □子供の発言を引き出しながら、収支カードを給料から生活費に裏返して変身させましょう。  必要なものが買えなくなってしまうことを理解させるために枠をとび出た「①しょくひ」のカードに注目させましょう。これが、お金には限りがあり、できるだけ支出を減らす努力をしなければならないという気持ちにつながっていきます。  **ポイント**  K:\教材データ\ポイントの指.png  □「①しょくひ」のカードがとび出している（ご飯が食べられない）ことに注目させ、とび出さないために何か工夫ができないか、考えさせましょう。  □ワークシートへの記入が難しい場合は、もう一度お金の流れを体験させましょう。  □ワークシートへの記入が可能な場合は、ワーク  シートの問題でよいと思う欄に〇をつけさせる。 |









お家のお金は、いろいろなものに使われていて、どんどんなくなっていくので、よく考えて、工夫して使う。

どうすれば、ごはんが買えるでしょう。

　かんがえよう。

＜考えたこと＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| くふう | | こうなるよ！ |
| １ | ごはんをたべない | 病気になる　動けない　学校に行けない |
| ２ | おかねをかりる | 返さないといけない　ダメといわれたら困る |
| ３ | ちょきんをおろす | ごはんは買えるけど、もしものときのお金がなくなる |
| ４ | せつやくする | 電気をつけたままにしないで安くする |
| ５ | じょうずにつかう | 最初からたくさん使わないで、少しずつ使う |

お家の人にきいてみましょう



おうちのおかねで何を買っているかな？

・ごはんのざいりょうをかう

・ゆうえんちであそぶ

・ノートやふでばこをかう